

## 令和4年度 第1回寝屋川市環境保全審議会 会議録（要旨）

日時 令和4年7月25日（月）10:00から12:00まで

場所 寝屋川市クリーンセンター 6階 多目的室

出席 山本会長、鯨坂副会長、尾崎委員、上原委員、玉川委員、当麻委員  
櫻井委員、古川委員、丸山委員、水井委員、倉恒委員

### 1. はじめに

（あいさつ、傍聴者の確認等）

### 2. 次第1 新体制照会

（事務局より紹介）

### 3. 次第2 令和4年度実施（予定）事業について

（資料1に基づき、事務局より説明）

### 4. 次第3 第3次寝屋川市環境基本計画の進捗管理について

（資料2に基づき、事務局より説明）

#### （委員）

基本計画に基づく目標について一つ一つ進んでいることが把握できると思います。

#### （委員）

高い目標を出しており、環境部署以外の部署もそれに合わせて頑張っていたということになります。さらに毎年このような形で評価をするというのは、達成しにくい目標については記入が難しいと思いますが、一目で評価できるのでこの形で進捗を見せるのは素晴らしいと思います。進めていただければと思います。

#### （委員）

細かく情報まで出しており良いと思います。ダメな点、良くしていかないといけない点などの情報も公開し市民に知ってもらうことが大事だと思います。一市民として情報に興味をもって参加していきたいと思っています。引き続き情報発信をしていただきたいと思います。

### (委員)

環境基本計画の指標で、令和3年度の数値を書く欄がありますが、すぐに数値が出るのでしょうか。

パーセンテージの記載がありますが、なにに対する値かわからないので教えていただきたい。

### (事務局)

令和3年度の数値については、すぐ把握できる数値もありますが、国が公表する数値がないと算定できない数値もあり、すぐに令和3年度の数値を出すのが難しいところもあります。その場合は令和2年度を含めそれ以前の数値を代替値として報告することになると思います。代替値についてはその旨の記載を行い、報告時も説明してまいります。

パーセンテージについて何が分母で、何が分子かについては、進捗管理を報告する際に提示してまいります。

### (会長)

誰に向けてのものか考えないといけないですね。この進捗管理シートが審議会への報告であれば、まだいいのですが、市民向けに情報公開するのであればもう少しかみ砕いてわかりやすくした方がいいと思います。

### (委員)

事務局として、令和3年度の数値がだいたい出ているのであれば、いつ頃公表するか、年に何回公表するかを決めておき、市民向けに公開するのであれば、インパクトがあって、子どもが見てもわかるような大まか感じでもいいと思います。それをやってみてダメだと思ったら細かくしボリュームを増やすとか、逆に多すぎてわからなくなったら、減らすといった感じで変えていけばいいと思いました。

### (事務局)

事務局としてもわかりやすく周知していくことは重要なことと認識しています。環境基本計画を作成する際も委員の方々から子どもが見てもわかりやすいものをご指摘いただき、計画だけでなく進捗管理も出来る限り数値の目標を出しました。委員の意見を踏まえ数値で進捗管理をします。

進捗管理の公開については年1回で考えており、審議会の内容につきましては、議事録や資料などをホームページ等で公開していきます。

委員の意見を受けまして進捗管理シートについてももう少しわかりやすくでき

るように事務局としても考えさせていただきたいと思います。

#### (会長)

わかりやすいものを出してもらうことによって環境教育にもつながるので、環境学習の一環だと思ってもらうと、また目線が変わるかもしれないですね。

#### (委員)

一般市民の方にどれほど響くかと考えたときに、パーセンテージだけではなかなかわかってもらえないのではないかと感じました。

#### (事務局)

このままではわかりにくいという印象を受けておられることはわかりましたので、総括的なシート1枚にまとめることやパーセンテージの内容について説明する別添の資料をつけるなどわかりやすい形に修正していくことを検討します。

#### (委員)

他部署を含めて目標値の設定や進捗確認を集約し、横断的に進めていることは前向きに取り組んでおりとてもいいことだと思います。学校でも教育計画を策定し、どういうことをやって、期待される効果はなにかといった書類をいっぱい作ります。取組の内容と実績と効果、そして次年度にどうつなげていくか、そして関わりのある課と横断的に行うのはとても大変なことです。やっていくことは必然だと思います。

先日策定された第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画では多くの意見が反映されており、改善を積極的にやっていることについては敬意を表したいと思います。

今回の進捗管理シートはとてもいいと思うので、皆さんがおっしゃるようにわかりやすくなればなお良くなるので、今後の工夫・改善をお願いしたいと思います。

#### (事務局)

後程、説明報告事項としてお伝えしますが、第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画や今審議いただいている進捗管理シートにつきましても、審議会で頂いた意見は、市民の方や専門的に見ていただいた意見ですので事務局として真摯に受け止めて、出来るだけ意見を踏まえて反映していくように考えておりますので、ご意見をいただきありがとうございます。

### (委員)

資料1について、年間スケジュールにまとめており、とても見やすいですが、見やすいからこそ、ごみの発生抑制・再生利用の推進については年間通じて充実していると思いますが、地球温暖化対策について空いているように見えます。ごみの発生抑制ぐらゐの充実は無理としても、秋から冬にかけてなにか示していただくとバランスよくなると思います。

資料2について、フォーマットに関しては問題ないと思います。他の委員からわかりやすくとの意見がありましたので、例えば進捗についてうまくいっているかを文書でなく、○△×といった評価があればわかりやすいと思います。全体のまとめについては、1ページ目についている指標に備考欄を設けることでまとめになるかと思います。

### (事務局)

資料1の温暖化対策と美しいまちづくりの推進について、夏場が中心となり秋以降は市民向けの取組が実施できていない状況ですが、今年度は地球環境講演会や環境リーダー養成講座、地域美観の向上といった新規事業を実施し、次年度以降はもう少し秋以降の取組が多くなるように考えていきたいと思っています。

資料2の評価について、○△×での評価になると、△が多くなることが懸念されるので、少し検討させていただきたいと思っています。

### (会長)

○△×を市民に出すのはいったん考える必要があると思いますが、審議会で進捗管理する必要があり出来るだけわかりやすくして欲しいと思います。

事業継続するかしないかについて、過去の進捗管理を確認すると、チェック欄を設けて横に理由を書いてもらったりしていたので、事務局に過去の資料をメールしたので確認していただければと思います。

### (委員)

一般市民向けの公開について、検討事項はあくまで検討しているものなので全て公開するのではなく、公開と非公開に分ければいいと思います。

温暖化対策については、夏だけでなく冬も発電所が1つ止まれば停電する恐れがあるので、冬季にホームページなどで節電キャンペーンなどをされてもいいのではと思います。

### (事務局)

電力需給について、国や大阪府から電力の使用を制限する通知があった場合、市民への周知が必要であり、国等から要請があった場合すぐに動ける体制を整えておくべきと認識しております。

### (委員)

フードドライブについて、過去にひと月かけて 300kg 集まったと聞きましたが、今年は環境フェアで 142kg 食品が集まったと報告を聞きびっくりしました。一方、量が多いのはそれだけ無駄が多いということ。雑紙とペットボトルキャップの回収についても、回収量などの数値が増えることがいいこととは限らないと思います。数値ではわからない、環境をよくしていこうという啓発が課題だと思います。

秋冬向けの温暖化について、小学生向けのお話会があってもいいと思います。お話会をしている若い方がたくさんいるのでそういった方の講演もあってもいいかと思います。

### (会長)

数値で見せることの良さと、数値で見えないことをどう取り扱うか、環境学習についてどう考えるかですね。

### (事務局)

フードドライブについては、事務局としても多いからいいのか、少ない方がいいのかは難しいところですが、フードドライブは、家庭で使わない食品を持ってきてくださいという事業ですので、持ってきてもらう分には多い方がいいと思います。ただ、委員がおっしゃられたとおり、家庭で使わない食品を買ってしまったということもあります。環境部としては、そのままにしておくで捨てられてしまう食品ロスになるので、それならばフードドライブとして持ってきていただくようお伝えしています。

ペットボトルキャップを集めるために、ペットボトルを買ってしまうとお声がありますが、ペットボトルをリサイクル際にはキャップとラベルを外す必要がありますので、キャップを持ってきてもらうことも目的ですが、外す習慣をつけることを重点的にやっていきたいと考えています。回収量も大事ですが、今後は取組自体の重要性を認識してもらえよう進めてまいります。

温暖化対策について、新規で地球環境講演会を当麻委員に協力いただき開催し、また子どもたち対象の環境リーダー養成講座を鯉坂副会長に協力いただき開催する予定です。新たなことについては次年度への検討で進めたいと思います。

### (副会長)

進捗管理シートがなぜわかりにくいか見ていくと、何をどう見ていったらいいのかわからないので、環境基本計画とうまく紐づけが出来るといいと思います。

環境基本計画の41ページを見ると、(3)代表指標と目標値、(4)目標達成のための指標、(5)施策の柱と個別施策がありますが、環境基本計画を作成している段階では、(3)、(4)、(5)の関係が紐づいていないことと、いくつかの指標に関連する個別施策もあって目が泳いでしまう。(3)と(4)の指標は連番にし、その指標毎の評価を付けるために、指標毎に関連する個別施策がなにか、その内容の中から事業化されたものはなにかを整理した表があれば、見る人は照らし合わせればわかる形になると思います。また、内容によって文言が違うものがあるので、何が照らし合わせれるのかわからず、混乱してしまうと思うので、文言をうまく選んで、進捗管理表を作成するとチェックがしやすくなると思います。

### (事務局)

環境基本計画で個別具体的に数値目標を出しておりましたので、その目標の達成に向けてどのようなことをしたか記載するため進捗管理シートを作成しました。照会する際に、環境基本計画に基づく施策の柱や個別施策に対してどのようなことをするかについて、環境基本計画のどこに基づいているかわかるように修正していきます。

### (会長)

施策柱の個別施策と年間スケジュールで出していた実施予定事業はすごく馴染があります。ですが、数字からいきなり指標を出そうと思うと、なかなか間がつかないなので、個別施策までブレークダウンして、個別施策のこの部分とこの部分で複合的に重なっているところがあると思うので出されるといいのかなと思います。

年間スケジュールの順番としては、環境基本計画に合わせた順番に変えていくことが1つと、環境教育・環境学習については、全部に横断的に関わりスケジュールで関係しそうな事業については網掛けでわかるようにすると思います。

委員からわかりやすく意見がありましたが、わかりやすくなると、審議会としてチェックしやすく、担当課も書きやすくなると思います。そして、副会長がおっしゃってましたとおり、関連付けができていてこのページ見たらいいと言えるようになり、進捗管理だけでなく担当課に説明するときもわかりやすいと思います。

## 5. 次第4 令和4年度環境保全審議会スケジュール

(資料3に基づき、事務局より説明)

(会長)

長く委員されている方は視察にいったことがあるかと思いますが、委員の中からこういうことを勉強したいなど意見がありますか。

(委員)

1回欠席した際に、未来の住宅と暮らし方を見学できるモデルルームのようなどころで行きたかったのですが行けなかったことがあり残念でした。

(会長)

大阪ガスのNEXT21だと思いますので、委員から説明をお願いします。

(委員)

天王寺の近くにあり20年程前にできた実験集合住宅です。大阪ガスの社員が住んで、エネルギーとか暮らし方、生物多様性などの実験を行っている施設です。見学は1時間半ほどのコースがあつて、担当者が説明してくれます。先ほど確認したら、見学後にこの審議会ができるような場所を提供してくれるとのことでした。例えば9時半ぐらいに見学を開始し11時頃に終わって、そこから審議会を1時間程行うことは可能です。特に再生可能エネルギーを多く取り入れており、屋上には太陽光発電と太陽熱温水器、エネファームという燃料電池があり、各戸エネルギーと熱を融通できるようになっています。未来の住宅の暮らし方を提案する場所なので、見学者がたくさん来られ、国交省等の政府機関も多く見学に来られています。また、緑がいっぱい大阪城から天王寺公園に野鳥が移動するときの休憩場所にもなっています。

(会長)

以前行ったときとまた違う形に変わっていると思います。2050年カーボンニュートラルというかなり厳しい目標を立てており、それを家庭部門でできるかみたいな話になっています。以前よりも効率的になっており最新のものを見られるのはいいかなと思います。

(委員)

1点だけ補足したいのですが、災害時に48時間停電になったという実験を行い、当然電気は太陽光発電と燃料電池、地下のコージェネレーションという大きなガスエンジンで電気と熱を供給して48時間生活しました。食料と水もストックがあり、自立できるマンションというのを実証したと聞いています。

(会長)

ありがとうございます。南海トラフもちょっと怖いような状況であり、災害ということも含めて、温暖化についても学ぶべきことが多いかなと思います。すぐここにしましょうというわけではないですが、事務局で検討してください。

新しく委員になった方には、これまで計画の策定で意見を出していただきましたが、計画策定の前までは視察をやっていたので、計画策定も終え、ルーチンになってきたので年1回程度入れさせてもらえればと思います。共通の認識を持って審議会のレベルを上げるという場を持たせていただき、コミュニケーションをとるみたいな形ができればいいなと思います。ただ、審議会の会議の時間はちゃんとあるので、宿題や色々やっていただくこともあるかと思います。

## 6. 次第5 その他

(資料4に基づき、事務局より説明)

### (副会長)

環境基本計画で環境教育をしっかりやっていきたいと思いますという中で、何かお手伝いできることはないかということで提案させていただきました。具体的にやることは、高専の学生たちが小学生対象にキットでできるソーラーカーを組み立てるモノづくりを通じて、環境について興味をもってもらいたいと思います。せっかく集まってもらうので、まず環境基本計画について、簡単にまとめた資料を基にこどもたちにレクチャーします。それはクイズ大会のような感じで進めていこうと思います。アイスブレイクを兼ねて仲良くなってもらい、その後に実際にソーラーカーを組み立ててもらいます。その中で、エネルギーの循環やクリーンなエネルギーを使ってモノを動かすことができるということをごどもたちに学んでもらいます。高専の学生を通じて学び、こどもたちにとって身近なお兄さんお姉さんがレクチャーするので、自分もこんなふうになりたいなと思ってもらいたいですし、2回に分けて実施するので、1回目の後、簡単な事前学習ムービーを作って、2回目を迎えてもらう予定です。こどもたちは2回目に向けて、ちょっと宿題でエネルギーの使い方や、何か工夫といったものを考えてきた上で、2回目を実施するときに、こどもたちと学生で議論をしてもらいます。そういったことで環境やエネルギーなどに対する意識を高めてもらう。最後に認定証を渡し、認定することで完結するというイベントを考えています。元は昨年度実施する予定で動いていましたが、コロナの関係で中止となり、今年度は感染状況は厳しい状況ではありますが、なんとか実施したいなというところで調整しています。

### (会長)

本日本日予定しておりました案件はすべて終了ですが、言い足りないことなどありませんでしょうか。



### (委員)

7月号の広報に若者が寝屋川市について語り合うという若者未来カフェが開かれたことがすごくいい取組だなと感じました。リラックスしたカフェ風のところで、参加してみようと思う若い市民が集まって話をする、その中から建設的な意見や色んなアイデアも出てくるかもしれないのでとってもいい取組です。これは定期的なものでしょうか。どんな分野で何回ぐらいされる予定かご存じでしょうか。

### (事務局)

企画担当が実施している事業で、若者がどういった考えを持っているのか話したいということで開催されたかと思います。次年度もやるか等の情報を掴んでおりませんので、確認しておきたいと思います。

### (委員)

イメージアップのためにやっている思いつきの1回程度のこともかもしれませんが、こういう話題の中にまちづくりだけではなく環境問題とか、これから計画に基づいて取り組むこと、それこそ環境教育などを、学校の子どもたちだけではなく若い人たちが自由に集まって色々まちの良いところも悪いところもフリートークすることで、理解が深まり触発されるような時間となり、何かを作っていくのではないかと思います。こういうスタイルに私たちの取組ものせていければいいなと思います。広報に載せるためにやっているイベントではなく、広報に載らなくてもいいので、こういう形で随時公開してやっていければいいなと思います。教室の子どもたち、見学に来る子どもたちだけの画一的なことだけでなく、広く市民に広めていくという意味で、若者みらいカフェをちょっと変えてさせていただいてシリーズ的に色々やっていくのがいいんじゃないかなと思います。

### (会長)

環境基本計画の52ページのところにも個別施策の中にも交流の場づくりがあるので、市民へのアプローチを含めて、リンクというか資源は限られているので、その中で環境関連の話題が出てきたら、うまく使わせていただくとか、逆に情報提供させていただくということが出来れば有用と思います。

### (委員)

委員のお話を聞いて、私も思っていたことだなと思いました。カフェ形式で話をするのは、結構色んな形で広がっていることなので、その中で環境の話ができたりとか、環境部の職員が入ってもらえれば、公共は私たちにとって遠

いものに思うのですが、この人たちがやっているのかと分かれば身近になり、そういう機会があれば素敵だと思います。

環境リーダー養成講座がとてもいいなと思います、その場に見学に行きたいくらい期待をしています。終了後、市のホームページや研究室のホームページなどで写真付きで公開してもらえれば、いろんな媒体でシェアしたいと思うので、シェアしやすい形でまとめてもらえればと思います。

### (副会長)

許可をとった上で撮影させてもらいたいなと思います。最近授業の関係もあって動画の編集がうまくなったので、ちょっとした動画でしっかり周知できるようにしたいなと思います。

### (会長)

環境リーダー養成講座もそうですが、全般的に環境基本計画の51ページの環境教育と環境学習の項目がこの計画のすごい特徴で、寝屋川は人が宝で人が形作っていったる人のまちです。そうしますと、みんなの意識を変えていって、教育していって、学習していってそれで良くしていこうとしています。そうすると、どういうふうに図っていくのかポイントになるので、横並びで基本目標の1～4に入れられない、環境教育の重なりがあると思います。全部取り出して見ると結構有機的なつながりがあると思います。このイベントとこれが重なるとか、他部署のところからも出てくるかもしれないなと思っています。そういうのも含めて今後どう発展していくかというのをすごく期待していますし、これが他にはない計画の一番の特徴です。有機的なつながりをいかにみせていくか、あと環境リーダーという形で、こどもたちが未来の寝屋川市を考えていくことも、積極的にやっている未来づくりをやっているというところが、この計画の中で、見えていって、ステップアップが見えていくことが進捗管理の目的かなと思います。以上です。

以上